

# 農 研 速 報

平成 24 年 7 月 10 日発行

茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室

〒301 - 0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297 - 62 - 0206 FAX 0297 - 64 - 0667

作物名(大豆)

県 名	生育ステージ		生育の状況	問題点	これまでに講じた対策 及び今後の方針	備 考											
	本 年	平年対比															
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	第 1 本葉 展開期		1)調査品種 :タチナガハ 納豆小粒 2)耕種概要 :6 月 27 日播種 11.1 株/㎡ 畦間 60cm×株間 15cm、1 本立 輪換畑圃場 1 年目(前作麦) N - P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> - K <sub>2</sub> O = 0.3-1.2-1.2(kg/a)  3)生育概況 播種後 3 日間は晴れて土壌表面が乾燥した状態が 続いたものの、その後の降雨により出芽、生育とも良好 である。出芽期はタチナガハが7月3日、納豆小粒が7 月2日であった(写真1)。  <参考> 6月18日播種の圃場において、発芽不良が認められ た(写真2、3)。これは19日及び22日の降雨後(計115 mm程度)、晴れが続き土壌表面が硬くなり発芽が妨げら れたためと考えられた(図1)。	特になし	・第4本葉展開時に第1回目の 中耕培土を子葉節まで行う。  <7月播種の場合> 発育不良の圃場や降雨によ りやむを得ず播種が遅れた場 合は、狭畦栽培(畦間 30 cm)を 行うことで収量の低下程度を抑 える。  転換畑狭畦無中耕無培土栽培 基準収量 170～210kg/10a 播種期と畦幅・株間(cm) <table><tr><th rowspan="2">品 種</th><th colspan="2">7月20日頃</th></tr><tr><th>畦間</th><th>株間</th></tr><tr><td>タチナガハ</td><td>30</td><td>10～15</td></tr><tr><td>納豆小粒</td><td>30</td><td>10～15</td></tr></table>	品 種	7月20日頃		畦間	株間	タチナガハ	30	10～15	納豆小粒	30	10～15	
品 種	7月20日頃																
	畦間	株間															
タチナガハ	30	10～15															
納豆小粒	30	10～15															

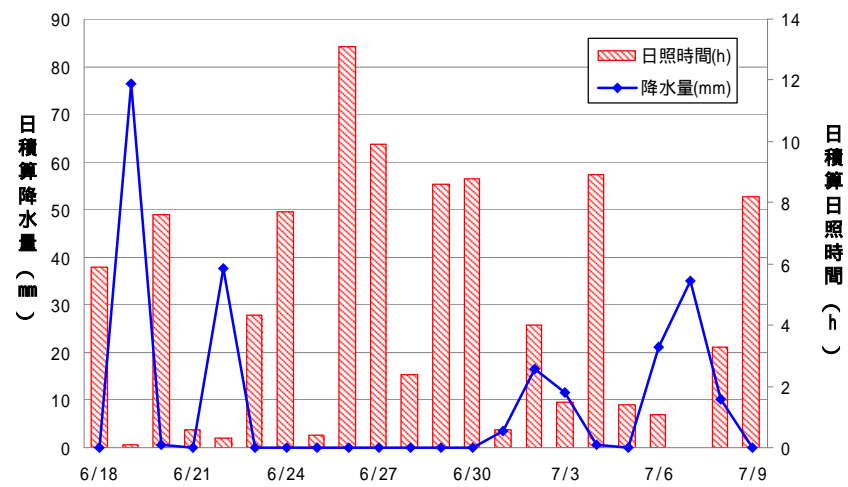


図 1 平成 24 年の気象経過(龍ヶ崎市)



写真 1: 6 月 27 日播種、品種: 納豆小粒(7 月 10 日撮影)、写真 2: 6 月 18 日播種は場(6 月 30 日撮影)  
写真 3: 発芽が妨げられ、生育停止した状態(囲み部)